

◆自選十五句より

藺草慶子

十人の僧立ち上がる牡丹かな
青嵐や死者ことごとく吾を統ぶ
ひるがほや永劫は何待つ時間
屑金魚花の如くにあつまりぬ
鳴きだせば蝸の木のとほざかる
叡山やみるみる上がる盆の月
踏む影のそばからあふれ盆踊
髪白くなるうつそみや星の恋
中有とや八手の花に梯子触れ
風花の散りこむ螺鈿尽しの間